

第2章 高齢者福祉施設の目指すべき姿

市内の総人口に含まれる高齢者の割合は高く、人口減少が進む中においても、高い割合を維持することが見込まれています。今後も続く、高齢化社会に向けて、高齢者が「健康で明るい暮らし」を営み、生きがいを持つことが、街の活力にもつながっていきます。

高齢者福祉施設は地域福祉の拠点として、主に高齢者の健康増進や教養の向上及びレクリエーション等を通じて健康で明るい暮らしをサポートする目的で設置しています。多くの施設が設置から30年以上経過し、老朽化への対応が求められており、維持管理の課題を抱えています。高齢者福祉サービスを全体で俯瞰(ふかん)すると、公共と民間が共存しており、利用者ニーズの多様化への対応について、効率的にサービスを提供できるよう、それぞれが役割を担うことも求められています。

これらを踏まえて、以下のとおり高齢者福祉施設の目指すべき姿となる(1)から(4)を設定します。

(1) 安全安心な施設

劣化が進む部位の点検を行い、老朽化する施設に適切な保全を行うことで、利用者にとって安全安心な施設を目指します。

(2) 地域福祉拠点としての施設

地域福祉を支える施設として、多機能化による利便性向上や障害の有無、性別等にかかわらず、利用しやすい環境の整備を進めるなど、良好な高齢者福祉サービスの維持・向上を図り、交流が生まれる地域福祉の拠点としての施設を目指します。

(3) 持続可能な施設

設備の更新、改修時においては、省エネルギー性能の優れた設備の導入などにより、環境負荷の低減に配慮した、持続可能な施設を目指します。

(4) 環境変化に対応した施設

長寿命化や建て替えを検討する際は、事業内容や機能をはじめ、代替可能なサービスを提供する民間施設の配置状況についても把握し、市全体として施設配置、運営方法の適正化を検討し、環境の変化に対応した施設を目指します。

参考として、「取手市公共施設等総合管理計画」(平成 28 年(2016)7月策定)に掲載されている高齢者福祉施設の課題の内、未対応の課題と、改善の方向性は以下のとおりです。

課題

- ・ 介護保険事業所については、介護保険事業計画に基づき、適正配置と管理が求められています。
- ・ げんきサロンは高齢人口の増加に伴い利用者の増加が予測されます。
- ・ 旧戸頭西小学校にはげんきサロン戸頭西が設置されていますが、校舎の耐震補強工事が必要となっています。

改善の方向性

- ・ 保健・福祉施設は、事業内容や機能をはじめ、代替可能なサービスを提供する民間施設の配置状況についても把握し、市全体として施設配置、運営方法の適正化を検討していきます。
- ・ 地域の福祉の拠点として、ニーズの変化に対応するため複合化も併せて検討していきます。
- ・ げんきサロン戸頭西については、旧戸頭西小学校跡地の利活用も踏まえて、移転も視野に入れて検討をしていきます。